

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 2 8 年度 第 3 回 地域計画策定部会
開 催 日 時	平成 2 9 年 1 月 1 7 日（火） 午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 1 5 分
開 催 場 所	市役所西館 はっらっセンター
会議次第	1 開会 2 議事 計画策定の取組み体制検討について 3 連絡事項 4 閉会
委員出席者	滝川 健一・竹下 隆康・加藤 重行・杉下 尚由 老平 千昌・仲井敬太郎・鈴木 誠 ・河邊 統子 山本 紀子
欠 席 者	1 人 今泉 亮司
事 務 局	田村千郷自治振興事務所長・戸田主事・森田主事
会議資料	【資料 1】 計画策定の取組み体制検討表

1 開会

会議成立の報告

9名の委員出席により会議成立

2 議事

(1) 計画策定の取組み体制検討

《決定事項》

■アンケート

対象：千郷地域自治区内に居住する20代以上 無作為抽出1,400件

※後日、事務局の算出結果を反映し、無作為抽出2,500件に修正

目的：千郷地域の現状把握（地域課題・地域資源など）

発送方法：郵送

回収方法：郵送

回収率向上：事前に協議会だよりを各戸配布

対象：千郷地域自治区内に居住する10代（小・中・高）

目的：10年後を見据え若い世代の考え方や進路希望等の傾向を探る。

発送：学校経由で依頼。なお、高校生は郵送

回収：学校経由で回収。なお、高校生は郵送

設問設計：アンケート設計の基礎をコンサルタント業者より学ぶ。

集計作業：事務局又は外部委託

■ヒヤリング

目的：地域活動の現場から見える課題を把握し、解決に向けた連携体制を築く。

対象：千郷地区内の既存活動団体及び新設活動団体

■分析作業

目的：地域の問題に対する要因を分析し、効果的な改善策が打ち出せるように原因を究明する。

手段：特定要因図作成

■将来像の設定

目的：H29年度検討

手段：

■サポート体制について

アンケート等の手段：専門家から基礎を学ぶ指導・助言

アンケート集計作業：事務局又は外部委託。

－主な意見－

(委員)

全戸配布した場合に記入する人が決まってくるので誰の意見かわからなくなってくる。誰が答えてもよいというのを避けるために層別を実施した方がよい。信用できるデータにするために無作為抽出の基準があると思うし、回収率も考慮する必要がある。

(委員)

全戸配布した場合、無作為抽出と違って疑問が残らないと思う。設問を年代別にするという方法もあると思う。全戸配布は回収率も高いし、郵送代が節約できる。

(委員)

全戸配布して組長さんに協力を求めた場合、行政区の組の件数によって負担をかけてしまう。また、組長さんがアンケートを回収に来た時に見られるのを嫌がり不安につながる。

(事務局)

アンケートが持つ性格があり、どこまでアンケートに求めるかということだと思います。傾向を知る目的であれば、必ずしも全員でなくても良いという考え方があると思います。個別の事情を聞くととなると手段としては弱いかと思います。直接聞いた方が真意を掴みやすいと思いますし、組み合わせて対応する形になると思います。

(委員)

傾向を掴むことを目的とするならばアンケートは回収率にもよるがサンプル数として500件くらいあれば良いと思う。自由意見を全員に聞くととなるといろんな意見があり面白いが目を通すのが大変になる。

(事務局)

アンケートで何を知りたいかによってとり方が変わってくる。住民全員を対象とした場合、郵送料だけでコストが非常に係るので無いという話となった。全戸か抽出の違いとして全戸の場合、誰が回答するかわからないので、世代や性別などの属性の違いが把握しにくい。無作為抽出の場合、世代や性別を選択することができるので属性毎の傾向を把握しやすい。ただし、回収率によって使えないデータとなる恐れがある。

(委員)

アパート世帯にも各戸配布の対象となっている。国勢調査を行った際に

ほとんど音沙汰無い状態であったので回収率が下がる恐れがある。

(事務局)

これまで地域協議会の中でアパート世帯と行政区とで地域の関わりが薄いことやゴミ問題で苦勞している話を伺っている。これからの千郷を考えていく上で何が有効な施策かを協議が必要になってくると思います。今回のアンケートとは別に、アパート世帯のみを対象としたデータや分析が必要になってくる。

(委員)

他のアンケートを参考にできるだけ自分たちで行っていきたいと思うがアンケートを実施するとしても、設問の作り方がわからない。コンサルに丸投げではこの地域のことをどこまでわかっているか不安である。

(事務局)

アンケートの基礎知識を最初にコンサルタント業者から学び、知識として身に付けてから設問を考えた方が後戻りしなくて済むと思います。自分たちが作ってからベースが違った場合に作り直しが必要になってしまう恐れがあります。アンケートとはどういうとり方をするのか。使えるアンケートとはどういったものかを学んでから設問は後から考えていくと良いと思います。

閉会